

# 「東商デパート」がきょう開店 正月用品も並ぶ生徒たちの店

日ごろの学習の成果を発揮しようと、生徒らが中心となって運営する「第四回東商デパート」＝写真＝が十五日、岡山市東山三丁目

の岡山東商業高校（千二百二十四人、藤田哲輔校長）で開かれる。衣料品店やパン屋など、クラス単位の二十八店舗が並ぶ予定。午前九時四十五分からオープニングセレモニーをして、同時に開店、午後二時半に閉店する。

生徒たちは店長をはじめ、営業課や経理課、サービス課などを担当。商品仕入れでは、実際の企業や店と数量や値段を交渉。広告の出し方なども体験してき

た。値段は市価の一割から三割ほど安く、利益はほとんど出そうにないという。

正月前とあって、海産物やもちを売る店のほか、生徒会が生徒や教師などから集めた古本を販売し、売り上げをAMDA（アジア医師連絡協議会）に寄付する。県内の福祉施設で作られた備前焼や小物、廃油せっけんなどを販売する「福祉の店」もある。

また、邑久郡邑久町のハ



ンセン病療養所「長島養生」約六十人を招き、生徒と交流する。

「邑久光明園」から